



## 特集 「子どもたちを育てるのは、地域全体の使命です」

地域の今を届ける密着レポート/子どもたちの手作り募金箱で街頭募金  
イベントpick up!/年越しまつりで楽しもう!  
連載/ふくしスマイル・ワーカー  
etc.

今月の表紙 ケーキハウスミユクの松田桃子さん — 12月は大忙しのパティシエさんです。

編集・発行 社会福祉法人黒部市社会福祉協議会 平成26年12月1日発行

この広報誌は一部共同募金の助成金により発行されています。

### うなづき

[場所] 黒部市宇奈月老人福祉センター

介護予防通所事業

### 生き生き倶楽部

時間/9:30~15:00

参加無料!

対象/65歳以上の方



※ は休館日

日	月	火	水	木	金	土
30	1	2	3	4	5	6
	新川荘	新川荘		新川荘	新川荘	
7	8	9	10	11	12	13
ヤンバイ 映画館	自力整体 心香りの湯	自力整体 心香りの湯		自力整体 心香りの湯	体 操	
14	15	16	17	18	19	20
	季節行事	季節行事		季節行事	季節行事	
21	22	23	24	25	26	27
ヤンバイ 映画館	健康体操		健康体操	健康体操	健康体操	
28	29	30	31	1	2	3

時間/10:00~ 自力整体 … 稲田 清美先生

健康体操 … 石田みどり先生

### 読んで効く



### 健康 ミニコラム 感染予防に効果的な口すすぎ!

食事の前後や口が乾くときに口すすぎは大切です。口の中の食べかすや歯磨きの後の汚れを洗い流す目的で行いますが、感染防止や口まわりのリハビリにも有効です。

一緒にうがいも行い感染予防に努めましょう!

お問い合わせは黒部市宇奈月老人福祉センター  
担当:広浜 まで TEL.(0765)65-1820

福祉・ボランティアに関することは

黒部市社会福祉協議会

http://www.kurobesw.com/

● 本 所 黒部市福祉センター内  
〒938-0022 黒部市金屋464-1  
TEL.(0765)54-1082(代表) FAX.(0765)52-2797  
TEL.(0765)57-1089(ケアセンター・ホームヘルプセンター)  
Eメール kurobesw@ma.mrr.jp

● 宇奈月支所 黒部市宇奈月老人福祉センター内  
〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山2111  
TEL・FAX.(0765)65-9533  
Eメール u-shakyo@ma.mrr.jp

### くろべ

[場所] 黒部市福祉センター

介護予防のための

### 元気はつらつ体操教室

時間/10:00~11:00

参加費/300円(入館料のみ)

対象/65歳以上の方



※ は休館日

日	月	火	水	木	金	土
30	1	2	3	4	5	6
		ストレッチ	ストレッチ		ストレッチ	
7	8	9	10	11	12	13
		健康体操A	健康体操A	ストレッチ		
14	15	16	17	18	19	20
		健康体操B	健康体操B	健康体操B	健康体操B	
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

時間/10:00~ 健康体操A … 樋口 瞬先生

健康体操B … 牧野 和子先生

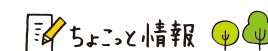
ストレッチ … 仁科 在重先生



### 編集後記

日が短くなり冬の訪れを感じます。クリスマスを意識して表紙は甘い香りに包まれたケーキ屋さんで撮影し、特集では普段なかなか見ることのできない仕事の現場取材させていただきました。働いておられる方々の真摯な姿に触れ、年の終わりを前に身の引き締まる思いがしました。

編集 中野



【黒部市の人口】41,876人 【65歳以上の人口】12,236人 高齢化率 29.0%  
H26.11.1 現在(外国人を除く)



特集

# 子どもたちを育てるのは、 地域全体の使命です

目立たないところにこそ、  
大切な仕事がある

子どもたちを育てるのは、  
誰でしょうか。家庭で  
でしょうか、それとも学校  
でしょうか。  
子どもたちを育てるのは  
地域全体の使命ではない  
でしょうか。  
今回の特集では、おなじ  
みの「14歳の挑戦」を通し  
て子どもたちが地域から  
何を学び、何に心を動かさ  
れたのか、いくつかの現場  
を取材しお伝えします。

## 「14歳の挑戦」とは

「14歳の挑戦」は、行動領域が広がりが活動が活発になる中学2年生が、1週間、学校外で職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に参加することにより、規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど、成長期の課題を乗り越えるたくましい力を身につけることを目指し、県内全ての中学校で実施されています。  
(富山県教育委員会HPより抜粋)



黒部市内では  
9月下旬～  
10月上旬にかけて  
5日間実施され、  
事業所の方々が  
中学生の指導に  
協力されました。



鮮やかな職人技に見入っています

「もちろん細工蒲鉾作りも体験してもらおうのですが、本当はそれだけじゃないんですよ。生徒たちには仕事の段取りの大切さを伝えたいのです。作るまでの仕込み、その後の片付け、明日の準備というように、スムーズに仕事ができるように段取りをしっかりとすること、つまり目立たないところでいかに準備できるかが大事だと考えています」。中陳さんの生徒への声掛けにはそんな気持ちもこもっていました。

生徒たちは「仕事は絶対に遅れるわけにはいかない。必要としているお客さんに決められた物を決められた期日に納める。それがないと信用がなくなってしまいますよね。そのためにしっかりと準備する。私たちも見習うことができます」と話し、14歳の挑戦で学んだことが自分たちの日常につながっていると感じていた様子でした。

## 何よりも、「人として」を大切にしよう

14歳の挑戦の受け入れを10年ほど担当している有限会社ダイサン大丸水産取締役専務の黒部英明さんは、わずか5日間という短い期間にどんな体験をし、どのようなことを学んでもらいたいかをしっ



確認しながら宛名シールを丁寧に貼ります

かりと考えておられます。「作っているものは干物ですが、その商品をお客さんに届けるまでにはたくさんさんの工程があることを知ってもらいたい。そして、お金を稼ぐというこの大変さを感じてもらいたいと思っています」。

体験した高志野中学校の照井拓さん、遠矢泰進さんの男子2名は、「あいさつをしつかりすること。そして、商品を丁寧に扱い、お客さんに届くときをイメージすることを教えてもらっています。あいさつや相手のことを考えるのは、仕事じゃなくても大切なことですよね」と、黒部さんが大切にしていることが少しずつ伝わっているようでした。

「実は中学生が来てくれることで、この職場も元気をもらっているんですよ。大きな声であいさつしてくれるしね。私たちも改めて安全確認や丁寧に教えることの大切さを学んでいます。この体験で魚に親しみを感じて、魚離れの意識が変わったらいいなあとも思っています(笑)」と、中学生を迎えることは会社側にとっても良い面があることがよくわかります。

株式会社昌栄堂黒部本店では桜井中学校の荒木晴香さん、島倉結衣さん、橋本妃菜さん、長谷怜奈さんの女子4名が挑戦しました。包装の箱を組み立てたり、甘く煮た栗をあんこで包んだりする作業のほか、商品を販売する店頭での接客、レジなど従業員の方々と同じ仕事を任せられています。

販売企画の河村真理子さんは毎年中学生の指導を担当されています。「まずは、あいさつが基本です。皆ハキハキとしてやる気もありますね。その上で、わからないこ



はじめての仕事に背筋が伸びる生徒たち

とは従業員に聞き、自分で仕事を見つけてられるようになってほしいと思っています」と話されます。体験した島倉さんは「お菓子作りが好きなので昌栄堂を選びました。仕事は意外にハードで大変でした。働いているのは女性ばかりだと思いましたが男性が多いことも意外でした。生菓子作りは細かい作業が多く難しかったです。全部できたときは達成感があり、とても良い経験になりました」と学んだことを話しました。



### 中学生の魅力は 素敵な笑顔

ホテルアクア黒部では、高志野・桜井・鷹施中学校の生徒が体験し、鷹施中学校の魚岸文流さん、藤井里帆さんに取材しました。担当の砂坂さんは「ホテルの裏側を見てもらいたいと考えています。快適なサービスを提供するためには、客室の中や厨房など裏方はどうなっているのか。お客さんでは見ることができない部分を体験してもらいます」と話されました。取材当日は、大きなパーティーが控える中、厨房裏で生徒たちは黙々と箸をホテル専用の箸袋に入れていました。華やかな舞台は、裏方の



箸袋を最終チェックします

皆さんの活躍があつてこそであることを実感している様子でした。砂坂さんの「中学生の魅力は、素敵な笑顔ですね。サービス業にとって笑顔はとても大切なものです。また、様々なお客さんとのコミュニケーションの力をつけることも必要ですね」というお話からも、彼らの成長を期待されていることが伝わります。

黒部峡谷鉄道株式会社では、宇奈月中学校の佐々木奏良さん、大上戸響さん、峰村龍斗さんの男子3名が、宇奈月駅での改札やホームでのトロッキ電車の乗車確認、鍵かけ、見送りなどの仕事に挑戦しました。運輸部の河端貴之さんは「黒部峡谷には国内だけではなく世界中



出発前の安全確認です

からお客様がトロッキ電車に乗り来られます。お客様はお1人おひとり違いますので、我々も日々勉強しながら丁寧な対応に努めています。年頃の中学生男子にとって大きな声と笑顔での接客は難しかったかもしれませんが、とても頑張ってくれました」と、中学生の頑張る姿に感心されていました。



改札では笑顔でお客様を見送ります

子どもたちを育てるのは地域の使命  
挑戦を終えた生徒たちは、事後学習として体験中に感じたことや感謝の気持ち、将来への意気込みなどを事業所へ手紙で伝え、1人

1枚の新聞にまとめます。やりっ放しにすることなく、自分が感じたことを整理して伝え振り返ることにより、この取り組みの意味が一層深まります。中学生が教えてもらったことの多くは、仕事とはいえず生きていく上で大切にしなければならぬことでした。準備をしっかりとしよう、あいさつが基本、相手の気持ちを考える、与えられたことを一生懸命やる。大人たちでさえ時には忘れてしまいがちになる基本的なこと。子どもたちを地域で育てようとする意識は、巡り巡って大人も成長させ、「地域の社会福祉」をつくっていくのだと思います。

### 活動レポート 1

### 赤い羽根で広がる交流の輪 子どもたちの 一斉街頭募金活動と パートナーミーティング



じぶんの町を良くするしくみ。  
赤い羽根共同募金  
pick up!  
子どもたちの  
力作募金箱!

10月25日(土)、アピタ黒部店にて、子どもたちの街頭募金活動を行いました。この街頭募金は、今年8月に行われた「募金箱つくり教室」に参加した子どもたちの中から希望者5名が作成した募金箱を使って、共同募金の助成を受けている団体と共に募金活動を行いました。

こうした活動に子どもたちが参加することによって、共同募金に限らず黒部市における福祉活動に関心を持ってもらえたらと考えています。

また、11月2日(日)には生地公民館祭りにパートナーミーティングとして参加させていただきました。たくさんの方との交流を図りながら、共同募金へのご協力をいただくことができました。今後、地域住民の皆さんとの顔の見える関係づくりを心掛けながら活動を行っていききたいと思います。

### 写真レポート 1 ひとりぐらし高齢者 ふれあいフェスティバル



10月18日(土)―黒部市福祉センター

黒部市食生活改善推進連絡協議会による手作り弁当や、桜井高校家庭クラブが作った「きんちゃく袋」がプレゼントされました。

### 写真レポート 2 平成26年度 東海北陸ブロック市区町村 社協職員研究集会



11月6日(木)・7日(金)―宇奈月ニューオータニホテル

東海北陸ブロック各県の社会福祉協議会職員の研究集会が黒部市で開催されました。黒部市社会福祉協議会からは多職種連携のケア会議の実践を紹介しました。



来て見てヤンバイ映画館

開催時間:13:30から 入場無料

12月2日(火)	「武士の家計簿」 場所 東布施公民館
12月9日(火)	「島田洋七の佐賀のがばいばあちゃん」 場所 音沢公民館
12月10日(水)	「武士の家計簿」 場所 ふれあいハウス宮野
12月18日(木)	「寛美の三等社員」 場所 内山とちの里

今月の相談日

- 民生委員児童委員と心配ごと相談 ご予約不要  
行政相談員と行政相談  
黒部市福祉センター 12月9日(火)13:30~15:30  
黒部市立中央公民館 12月11日(木)13:30~15:30 (宇奈月町浦山2100-2)
- 弁護士と法律相談 予約受付12月1日より  
黒部市福祉センター 12月16日(火)13:30~15:30
- 富山県東部生活自立支援センター巡回相談 ご予約不要  
黒部市福祉センター 毎週月曜日 13:30~15:00 ※12月29日(月)は実施しません

催し物と休館日のご案内

12月の催し物

6日(土)	さくらカラオケ愛好会	10:30~
7日(日)	はまなすカラオケ&踊笑の会	10:30~
21日(日)	日本海歌謡研究会 歌と踊りの祭典	10:30~

休館日 24日(水)・30日(火)・31日(水)  
毎週月曜日(1日・8日・15日・22日・29日)

※福祉センターのお風呂工事のため12月25日(木)~12月28日(日)まで入浴ができません。入館はできます。

今月のクラブ

囲碁・将棋クラブ  
毎週金曜日(5日・12日・19日・26日)

元気カラオケクラブ/健康麻雀クラブ  
11日(木)・25日(木)

今月の湯

入浴時間 10:00~16:00

- 12月 2日(火)~7日(日)……南国シークワサーの湯
- 12月 9日(火)~14日(日)……海洋深層水風呂
- 12月16日(火)~21日(日)……レモン・ライムバスの湯
- 12月23日(火)……巨峰の湯

クリスマスプレゼントに  
センターの入浴券はいかがですか?  
11枚綴り 3,000円

町内の会合や趣味の集まりに、黒部市福祉センターをご利用ください

イベントpick up!

手芸教室

元気づくり事業

千支のマスコットづくり

平成26年 12月11日(木) 13:30~15:00

来年の千支は「未年」です。ヒツジのかわいいマスコットを作ってお正月の準備をしましょう!

- [場 所] 黒部市福祉センターうめ・さくらの間
- [講 師] 岡田 日富美 氏
- [参加費] 800円
- [持ち物] 手芸用ボンド・ハサミ・カッター
- お申込み開始:12月1日(月)~
- 黒部市社協までお問合せください

おまつり

全館無料開放

年越しまったり 2014

平成26年 12月20日(土) 8:30~15:30

会場 黒部市福祉センター

<p>チャリティランチ</p> <p>300円以上の募金で豚汁とおにぎりとお大抽選券をプレゼント!!</p>	<p>縁日コーナー</p> <p>もぐらたたきなどのゲームや美味しいものが盛りだくさん!</p>	<p>アトラクション</p> <p>大道芸人のチンドン芸 12:30~ 大抽選会 14:00~</p>
--	--	---

「釣りバカ日誌」(第一作)上映 10:00~11:30

この事業は共同募金の助成を受けています

黒部市福祉センター 利用時間/ 8:30~16:30

1月の催し物

10日(土)	日本海歌謡研究会 歌と踊りの祭典	10:30~
17日(土)	YKK社友会歌謡同好会発表会	10:30~
24日(土)	歌謡パラダイスふれあいショー	10:30~

休館日 1日(木)~4日(日)  
毎週月曜日(5日・12日・19日・26日)



pick up! / 謝意を表される沖村氏

10月15日(水)、オーバード・ホールで、富山県社会福祉大会が開催されました。  
また10月25日(土)は、サンシップとやまで富山県民ボランティア・NPO大会が開催され、黒部市からは4団体が表彰されました。  
黒部市からも、たくさん個人の個人・団体が表彰されましたので、ご紹介いたします!

受賞おめでと〜ございます!  
多くの黒部の市民や団体が表彰されました。

活動レポート 2

ふくしスマイルワーカー

スマイル Vol.12



有限会社北陸ケアサービス黒部店  
福祉用具専門相談員

長崎 憲一さん(41歳)

利用者の希望や状況に応じ福祉用具の選定や使い方を専門的にアドバイス

介護の負担を減らせるように総合的なご提案をしています

車いすや介護用ベッド、紙オムツなど生活全般にかかわる福祉用具や介護用品の販売やレンタル、介護リフォームを扱う会社で利用者の方の相談にのる長崎さん。「ご本人さんとご家族さんの介護の負担が少しでも軽減出来たらと思って仕事をしています」と話す長崎さんは黒部店の管理者をされています。  
利用される方のご自宅へケアマネジャーに同行し、どのようにしたら住みやすく快適な暮らしになるのかを考え、玄関や床の段差など家の造りを総合的に見て提案しているそうです。  
新川管内を広く担当されていますが「相手の方の気持ちになって迅速に対応しよう心掛けています」と話す頼もしい長崎さんでした。

富山県社会福祉大会

- 富山県知事表彰  
優良民生委員児童委員の部  
沖村 武志  
社会福祉施設従事者の部  
浅井 恵子
- 富山県社会福祉協議会会長表彰  
社会福祉事業関係功労者の部  
金田 明美(下立保育所)
- 中島 順子(三島保育所)
- 橋本 智代(魚津市立西布施保育園)

ボランティア活動参加者の部  
新村 恵子(個人)  
村椿地区  
ボランティア部会(団体)

- 富山県共同募金会会長表彰  
共同募金活動優良地区・団体  
中央小学校児童重会  
YKK労働組合  
ボランティアグループ

富山県民ボランティア・NPO大会

- 富山県知事表彰  
(ボランティア部門功労)  
大布施地区ボランティア部会
- ボランティア活動推進  
富山県民会議会長表彰  
石田地区ボランティア部会  
若栗地区ボランティア部会
- ボランティア活動推進  
富山県民会議会長奨励賞  
特定非営利活動法人松桜閣保勝会